

令和3年度

花巻市行政評価委員会の評価結果に対する市の考え方

令和3年12月 花巻市

## 目 次

政策No.・政策名	施策No.・施策名	部会	ページ
1-5 農工商観連携の推進	3 企業誘致の推進	しごと	1
1-6 雇用環境の充実	1 職業人材の育成		3
2-6 健康づくりの推進	3 地域医療の充実	暮らし	5
2-6 健康づくりの推進	1 健康づくりの支援		7
3-2 学校教育の充実	4 教育環境の充実	人づくり・ 地域づくり	9
3-3 生涯学習の推進	2 青少年の社会教育		12
行政評価の改善に関する提言			15

施策No.1-5-3「企業誘致の推進」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について	機能しているが、「Action=見直し」が次の点で不十分である。半導体・自動車関連産業の積極的誘致を図るのであれば、産業団地（いわば用地）の整備にとどまらず、それら産業の特性を考慮し、必要な産業インフラも含めて整備することが求められる。花南地区への産業団地の整備の可能性が検討されているが、それ以外の土地への検討も含めることが求められる。	産業団地の整備については、国土利用計画花巻市計画で令和2年度に計画区域の半分を整備・分譲済みの二枚橋地区や花南地区のほかに複数の候補地を位置づけておりますが、いずれも農業振興地域内の農用地区域であり、農用地区域からの除外には、個別企業による具体的な計画や土地の利用調整が必要であるなど、現実的に開発は限りなく困難であることから、早期整備が可能な花南神地区を取り組んでいるものです。 なお、ご指摘のとおり半導体・自動車関連産業の積極的誘致を図るための施策やこれらの業種を呼び込むためのインフラ整備に関する記述が具体的な内容に欠けていたため、来年度の評価シート記載内容を含め、見直すべき点を加味して検証します。	商工観光部 商工労政課
「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について	分析は行われている。進出希望企業の「希望条件に合致しなかった」要因が、「分譲地や空き物件の地理的条件や価格面など」と指摘されているが、達成度を今後改善するためにも、もっと具体的に書き込んでほしい（敷地面積が不十分なのか、価格が高い場合、どのくらい高いのかなど）。	ご指摘のとおり達成度を改善するための方針等についての説明が不足していたため、来年度の評価より具体的に記述するよう努めます。 なお、詳細に記述することにより、企業名や企業動向が特定されるおそれがある場合は簡略な記述にとめることができます。	商工観光部 商工労政課
「4 施策を構成する事務事業の検証」について	行われている。誘致の為に支援等について検証していることはよいが、企業がなぜ進出しないかの検証も必要である。半導体や自動車関連企業に絞っているが、花巻の交通上の地理的優位性を考えれば、物流関係も視野に入れてはどうか。	ご指摘のとおり企業進出の鈍化についての分析が不足していたため、来年度の評価より企業進出が進展しない理由を加味して検証します。 また、ご指摘の物流関係につきましては、半導体や自動車関連企業の誘致に並行して既に取り組んでおります。昨年度末には、前述の二枚橋地区に大規模な流通関係事業者が進出しており、残り半分についても流通関係事業者が直接造成することを検討中と伺っています。	商工観光部 商工労政課

		<p>なお、既存の流通業務団地に進出している企業に関しましては、市の支援策を拡充したことと相まって、設備投資に対する意欲が高まっており、企業用地内の未利用地への設備投資も見受けられますが、こうした具体的な記述が不足しておりましたので、来年度の評価シート記載内容を含め、見直す点を加味して検証します。</p>	
「5 施策の総合的な評価」について	<p>行われている。今後の方向性に関して、用地取得意欲ある企業のニーズ（土地面積だけではなく、関連インフラも含めて）を的確に把握すること、花巻の交通システムの利点（南北・東西の高速道路、空路）を活かした物流センター関連業種も視野に入れること、花南地区以外の産業団地の整備も視野に入れることなど、長期的な視点が必要である。</p>	<p>ご指摘の物流関係につきましては、前述のとおり、既に取り組んでおりますが、具体的な記述が不足しておりましたので、来年度の評価シート記載内容を含め、見直す点を加味して検証します。また、ご指摘を受けて、企業ニーズとそれに対する本市の中長期的な企業誘致に関する視点を持つことが必要と考えますので、今後の事業は、中長期的な視点を持って展開してまいります。</p>	<p>商工観光部 商工労政課</p>
●シート記載内容全般について	<p>現状と課題があっさり過ぎる。市民からすれば、もっと具体的に書き込んでくれば、理解が深まる。例えば、「市の産業団地はほぼ完売しており」とあるが、これまで整備した産業団地は〇〇で、敷地面積は〇〇ha整備されて、そのうち〇〇haが売約されて残りは〇〇haなので新たな産業団地が必要…、〇〇関連産業の〇〇企業が〇社進出…、半導体関連企業の進出実績は〇社など。</p>	<p>現状と課題については第3期中期プラン記載の内容となっております。ご指摘のとおり現状と課題についての説明が不足していたため、次期総合計画を策定する際には、比較検討が容易となるよう数値を用いるなど、具体的に記述するよう努めます。</p>	<p>商工観光部 商工労政課</p>

施策No.1-6-1「職業人材の育成」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について	機能している。ただし、令和2年度については、100年に一度あるかないかとされる、新型コロナウイルス感染症の拡大が影響したことについて言及しても良いのではないか。	ご指摘のとおり新型コロナウイルスの影響に関する記載が不足していたため、来年度の評価より不可抗力により影響が出た場合、その状況を加味して検証します。	商工観光部 商工労政課
「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について	<ul style="list-style-type: none"> <li>分析はおこなわれている。達成度がCであったが、突発的な影響があった場合の評価基準があっても良い。</li> <li>今後の達成度改善策として、セミナー等の開催をリモートでも行うことができるような方法を検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>達成度については他の年度と比較する際に同一の指標が必要であると考えます。そのため、評価基準を変更するのではなく、その分析として記載しております「達成状況に関する背景・要因」の部分を確認いただき適切に評価されているかの判断をお願いいたします。</li> <li>ご指摘のありました各種セミナー等の開催形式につきましては、令和3年度開催のセミナーから、リモートでも対応ができるよう改善を図っております。</li> </ul>	総合政策部 秘書政策課  商工観光部 商工労政課
「4 施策を構成する事務事業の検証」について	行われている。技能人材の育成についての取り組みについては、技術をPRするのみで後継者の発掘が図られるのか、今後、後継者育成にも重点的に取り組むことを視野に入れるならば、取り組みの具体性が必要である。	ご指摘のとおり、後継者育成のための具体的な取り組むべき事業についての分析が不足していたため、来年度の評価より具体的な記述を加味して検証します。	商工観光部 商工労政課
「5 施策の総合的な評価」について	行われている。少子高齢化が進むと同時に、人口減少社会が到来しているという社会構造の変化、雇用のミスマッチが起こる要因と企業ニーズや労働者の労働条件のニーズの変化を踏まえた具体的な課題や方向性についての記述があればさらによい。制度の周知と活用という表現が散見されるが、周知と活用についてより具体的な記述があれば理解が深まる。	ご指摘のとおり、社会構造や雇用環境の変化、制度の周知や活用についての分析が不足していたため、来年度の評価より、例えば周知や活用につきましては、産業支援施策制度説明会における周知、市内事業所宛一斉メール配信、広報はなまきへの掲載など具体的な記述を加味して検証します。	商工観光部 商工労政課

<p>●シート記載内容全般について</p>	<p>【現状】と【課題】がそれぞれ3項目掲げられているが、対比できるように記載順をそろえたほうが良い。また、「前年度評価の今後の方向性」「反映状況」についても、5施策の総合的な評価の「課題」「今後の方向性」のように項目を分け、それぞれに対比する形で記載する方が見やすく理解しやすい。</p>	<p>ご指摘を受けて、シート記載内容の見やすさは必要と考えますので、項目ごとに対比できるように記載するなど見やすい記載となるよう改善してまいります。</p>	<p>商工観光部 商工労政課</p>
-----------------------	---	--	------------------------

施策No.2-6-3「地域医療の充実」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について	機能している。		
「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について	<p>「かかりつけ医」と「かかりつけ歯科医」に関する成果指標と達成状況の内容を構成する成果指標である数値は、回答者が特定されていない市民アンケートの結果を前提とするものであるため、その数値は一般的な傾向を示すものではあるが、実数を反映しているものではない。各年度のアンケートの数値の上下をもって、実態として「かかりつけ医」あるいは「かかりつけ歯科医」をもつ市民の数が上下しているというように理解することはできない。施策の効果をより正確に把握しようとするならば、この指標の他に、啓発活動としての健康講座やセミナーの受講者数とそのなかからその後「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」をもつた市民の数がどれくらい増えたかを把握できる指標の検討も必要なのではなかろうか。</p>	<p>「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」は、病状に応じて病院・診療所が役割分担をし、一貫した治療方針のもとで市民が切れ目ない医療を受けるための「入口」になるものであり、各自がかかりつけ医等で定期的、または必要に応じて診療・加療を受け、さらに高度な加療が必要な場合は、かかりつけ医等が然るべき医療機関へ繋げていく仕組みです。最終的な目標は、市民全員にこのことを理解していただくことであり、市では様々な広報活動を行っていくこととしておりますので、これらの効果を測るためには、不特定者へのアンケートが有効と考えます。なお、確かに健康講座等の啓発活動自体の効果についても把握することが望ましいことから、講座を開いた際には別途、受講者へアンケートを実施するなど、手法を検討してまいります。</p>	健康福祉部 健康づくり課
「4 施策を構成する事務事業の検証」について	的確に行われている。		
「5 施策の総合的な評価」について	<p>「課題」にある「病診連携の仕組みとかかりつけ医の必要性について、さらに市民に対して普及啓発を行う必要がある」に対し、「今後の方向性」のなかでコロナ禍という特別な状況を踏まえたくて「各種健診などの機会」を活用するとする現実的な方法を方向性として示している点は評価できる。欲を言えば、それと併行して通常の状況のなかで行う「普及啓発」に関する、より効率的な方法を方向性として示すことができればさらに良いのではなかろうか。</p>	<p>ご指摘を受け、通常の状況下で効果的に普及啓発を行うことができる方法について、広報はなまきや市ホームページのさらなる活用も含めて、令和4年度において検討してまいります。</p>	健康福祉部 健康づくり課

●シート記載内容全般について	(書くべき内容量と書けるスペースとの関係から仕方のないことかもしれないが、可能であれば紙の枚数を多くしてもかまわないので) 字をもう少し大きく表示してもらえると有り難い。	ご指摘を受けて、来年度からの評価では簡潔でわかりやすい記述とする等、見やすい施策評価シートとなるよう心がけてまいります。	総合政策部 秘書政策課
----------------	---	--	----------------



施策No.2-6-1「健康づくりの支援」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について	機能している。		
「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について	成果指標「食事に気をつけている市民の割合」に関し、「3 成果指標の進捗状況」のなかで、令和2年度の実績値が大きく減少している点について、その「背景・要因」として、新型コロナウイルス感染予防のために講習会等の開催が大きく減少したことを挙げているが、その見方について異論はない。ただ、コロナ禍以前の年度についても継続して実績値が減少傾向にあったところを見ると、実績値の減少に関する背景や要因として講習会等の開催回数以外の要素の存在も考えてみる必要があるかもしれない。	ご指摘のとおり、既存の講習会のみでは食事の大切さについての啓発・周知が不足していると考えますので、令和4年度より、例えば中学校や高等学校の文化祭へのブース出展など、親子を対象とした食事への関心を高めるための周知活動の実施について、関係機関とともに検討してまいります。	健康福祉部 健康づくり課
「4 施策を構成する事務事業の検証」について	的確に行われている。		
「5 施策の総合的な評価」について	的確に行われている。		

<p>●シート記載内容全般について</p>	<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成度」が「D」評価となっているが、その前提となる「達成状況に関する背景・要因」における「個々の成果指標の達成度」が「C」「C」「B」となっていることからすると、一見すると総合評価としては「C」が相当であるように思われる。ヒアリングの際に事務局からその評価ルールの説明があって「D」評価となることを理解した。HP 等で一般に公開する際には、評価のルールについての補足的な説明があることで閲覧する一般市民にとっても分かり易くなるのではなかろうか。</p>	<p>ご指摘を受けて、来年度の委員会より第1回委員会において、施策評価シートの見方・ルールについて資料を提供するとともに事務局より説明を行ってまいります。また、市ホームページに公開するにあたっての説明についても検討してまいります。</p>	<p>総合政策部 秘書政策課</p>
-----------------------	--	---	------------------------

施策No.3-2-4「教育環境の充実」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立高校振興事業について、「補助金を交付し、支援に努める」とあるが、具体的な目標（例：生徒数や受験者数をどうしたいのか）についての記述がなく、今後の方向性としては不十分ではないか。</li> <li>・ICT環境の整備について、「児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現」とあるが、これは学校だけのことなのか。家庭における「児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現」についてはどのような方向性を考えているのかを示すべきではないか。</li> <li>・「タブレット端末や大型提示装置などのICT環境を十分に整備する」にとどまらず、使われ方についての方向性まで示すべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立高校振興事業は、「事務事業評価シート（意図欄）」に記載のとおり、私立高校の教育環境の整備充実と（教職員の）人材確保により、優れた人間形成の推進と学校経営の健全化を目的に補助金を交付する事業であり、生徒数や受験者数の増加を狙いとするものではないことをご理解願います。</li> <li>・現行の学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」は、学校で目指す授業の在り方であり、家庭において実現を目指すものではないことをご理解願います。</li> <li>・小中学校学習用端末整備事業や小中学校教育環境充実事業は、国庫補助金により令和2年度内で購入と配置を行う環境の整備が目的となっています。整備した機器の活用方針については、令和3年3月に「第1期花巻市学校ICT推進計画」を策定しております。</li> </ul>	<p>教育部 学務管理課</p>
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標として「コミュニティ・スクールの割合」が使用されているが、指標として適切なのか疑問がある。「コミュニティ・スクールの割合」そのものではなく、コミュニティ・スクールの割合を増加させるための指標の方が望ましいのではないか。</li> <li>・成果指標「コミュニティ・スクールの割合」の達成状況に関する背景・要因について、「十分に行われている」、「進めている」、「進めている」といった肯定的な表現で分析がなされており、達成度Cの背景・要因としては分析が不十</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標は、最終的に達成したい姿を示すものと理解しており、割合を増加させるための取組につきましては、事務事業評価シートに活動指標として記載しております。</li> <li>・コミュニティ・スクール設置については、計画的に進めてきていたところですが、達成度Cの背景・要因については、「具体的な設置に向けた協議の場を設定できなかった」と記述しておりますが、「1年延長した計画で進めている」と</li> </ul>	<p>教育部 学務管理課</p>

	分なのではないか。「コミュニティ・スクールの割合」が達成できなかった背景・要因について明確に記述すべきではないか。	の記述が肯定的とのご指摘であると存じますので、来年度以降の評価の際には達成度の状況に応じた表現となるよう努めてまいります。	
「4 施策を構成する事務事業の検証」について	<ul style="list-style-type: none"> <li>奨学金活用人材確保支援事業費およびはなまき夢応援奨学金事業費について、「周知を図る」としているが、どのように周知を図っていくのか、具体的に記述すべきではないか。例えば、後者について、「制度周知のための訪問学校数」および「制度周知チラシ及び募集要項の送付箇所数」を活動指標としているが、訪問や送付ではなく、生徒に直接かわる教員への働きかけ等を活動指標とすべきではないか。</li> <li>学校給食センター改修事業について、「施設等の不具合を原因とする給食停止や献立変更日数」を成果指標としているが、基準が厳しく、それが1日でも発生してしまうと成果指標の達成度が目標値より低いと判定されてしまうような指標は、指標として適切なかの疑問がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「引き続き現行制度の周知を図る」と記述しており、引き続き取り組む内容については、『2 前年度の評価の振り返り』内に、「市内中学校、高等学校や大学に対し、チラシ配布や学校訪問による周知依頼を実施するとともに、市の広報・Webページ、FMはなまきを活用して、各家庭に周知する」旨を記述しております。</li> <li>教員への働きかけにつきましては、現状において周知依頼のため学校を訪問した際に、担当教員等への説明も併せて行っておりますが、当該年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、学校関係者以外の訪問制限されていたこともあり、訪問できない状況にあったものです。今後は、各校と調整の上、学校訪問による依頼を増やすよう努めてまいります。なお、活動指標については基本的には一定期間変更を行わないものと認識しておりますが指標の適切性については随時検討してまいります。</li> <li>「施設等の不具合を原因とする給食停止」については、施設管理者として発生させてはならないこととして捉えております。しかしながら、施設の老朽化が著しい状況下においては、「献立変更」は、緊急事態に対応し給食提供を行ったものであることから、成果指標から削除することを検討いたします。</li> </ul>	教育部 学務管理課
「5 施策の総合的な評価」について	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット端末整備後の指導体制・指導方法について、運用面での方針を検討・策定するとあるが、どのような方針とすべきなのかについてまで踏み込んで記述すべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘のとおり運用面の方針の具体性が不足していましたが、施策を構成する事務事業である小中学校学習用端末整備事業や小中学校教育環境充実事業は購入と配置を行う環境の整備が目的となっており、配置後の新たな課題として記述したものであります。指導体制・指導方法等の</li> </ul>	教育部 学務管理課

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標が達成されず成果の向上を図る事業としている「学校安全確保事業費」についての記載がないので、成果の低い事業については記述すべきではないか。</li> </ul>	<p>活用方針については、令和3年3月に「第1期花巻市学校ICT推進計画」を策定しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校安全確保事業費」につきましては、事務事業評価シート of 成果指標として登下校中の児童生徒の交通事故件数「0」を目指しておりますが、加害側の要因もあることから今後の方針を示すことが難しいため記述していないものであることをご理解願います。</li> </ul>	
●シート記載内容全般について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の成果指標、事務事業の活動指標および成果指標の適切性に疑問のあるものが散見されるので、指標についての再点検が必要なのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策及び事務事業に係る活動指標及び成果指標については、複数年に渡って当該施策及び事務事業の成果等を計測するためのものであり、基本的には一定期間変更を行わないものと認識しておりますが、事務事業評価の指標の適切性については随時検討し、施策の成果指標については次期総合計画を策定する際に検討してまいります。</li> </ul>	<p>教育部 学務管理課</p>

施策No.3-3-2「青少年の社会教育」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反映状況において、「新型コロナウイルス感染症の影響により、具体的な新規事業の開催には至らなかった」とあるが、代替策を記載してもよいのではないか。</li> <li>・「生涯学習事業事例集」を作成するなど、情報を共有するような取り組みを行っているのであるから、そのような周辺事業についても記載するべきではないか。</li> <li>・前年度評価時の今後の方向性の提示が不十分であった（地域生涯学習事業支援についてしか記載がない）ため、その反映状況をみても、青少年の社会教育施策全般における見直しについての記載と見なすことができない。したがって、青少年の社会教育施策全般の記載になっておらず、その実態が十分に示されていない結果となっているのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、参集しての会議・講座等が開催できない状況のなか、手法を模索しましたが、リモート環境等ハード整備も整わず代替え事業等の実施には至りませんでした。（令和3年度につきましては、ハード整備も進みリモートでの事業実施等も試みております。）</li> <li>・ご指摘を受けて、他の施策で掲載したものであっても、施策に係る関連事業等の記載が必要と考えますので、来年度の評価より記載するよう努めてまいります。</li> <li>・ご指摘のとおり、施策全般の記載が不足していると考えますので、来年度の評価より今後の方向性を示す際に青少年の社会教育施策全般について検討を行い実態を反映させるよう努めてまいります。</li> </ul>	<p>生涯学習部 生涯学習課</p>
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標の実績値について、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響であると考えられるが、それ以前から下降傾向を示しているのであるから、別の背景・要因があるのではないか。それについて十分な分析を行い、その結果を記載すべきである。</li> <li>・成果指標を「地域で行われている行事やボランティア活動に、青少年が参加している市民の割合」としているが、その測定方法として、「地域で行われている行事やボランティア活動に、青少年が参加していると認識しているか」という市民の認識を問う市民アンケートの項目を使用しており、その測定方法として適切なのか疑問がある。実際に青少年のボランティア参加がなされている（はなまきおもしろ探検隊・花巻市成人式等）のであるから、実態に合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘のとおり、成果指標の実績値の分析が不十分であったため、来年度の評価より市民アンケートの設問のしかたなど、成果指標について十分な分析を行ってまいります。</li> <li>・ご指摘を受けて、成果指標の検証につきましては、次期総合計画の策定の際により実態が反映されるような指標となるよう検討してまいります。</li> </ul>	<p>生涯学習部 生涯学習課</p>

	<p>った指標の方が望ましいのではないか。成果指標の不適切さにより、施策の達成度を引き下げている可能性も考えられるのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の目指す姿、施策の目指す姿の実現に向けた取組、成果指標が論理的に結びついておらず、それらの関係性が不明である。それらの関係性が理解できるような丁寧な説明を行うべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘を受けて、各項目が繋がる書き方となるよう、来年度からの評価では記載内容を精査してまいります。</li> </ul>	
「4 施策を構成する事務事業の検証」について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年活動推進事業しか記載されておらず、非核平和推進事業および少年センター運営事業についても検証結果を記載すべきではないか。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大があったとしても、施策の目指す姿の実現に向けた取組はなされているのであるから、それらについて評価を行い、その結果を記載すべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘のとおり、青少年活動推進事業以外の事業（非核平和推進事業・少年センター運営事業）についての分析が不足していたため来年度の評価より検証結果を記載してまいります。</li> <li>・令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響が想像以上に大きく、青少年の社会教育に関する事業に大幅な停滞がありましたが、ご指摘を受けて、来年度からの評価では影響が少なかった事業等についての取り組みの評価結果の記載について検討いたします。</li> </ul>	生涯学習部 生涯学習課
「5 施策の総合的な評価」について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の方向性として、「開催手法を模索する」、「検討を進める」、「方針を検討する」とあるが、具体的な提案をするなど、今後の方向性を明確に示すべきである。今後の方向性の提示が不十分であると、次年度に青少年の社会教育施策全般における見直しについての実態が十分に示されない結果となってしまうおそれがあるので、課題の洗い出しを十分にいき、その今後の方向性を明確に示すべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘のとおり、方向性に関する具体的な記載が不足していたため、施策の総合的な評価について、課題の洗い出しを行い次年度に向けて方向性が明確に示されるよう努めてまいります。</li> </ul>	生涯学習部 生涯学習課
●シート記載内容全般について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の成果指標、事務事業の活動指標および成果指標の適切性に疑問のあるものが散見されるので、指標についての再点検が必要なのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期総合計画の策定過程において成果指標・活動指標等の検証を行ってまいります。</li> </ul>	生涯学習部 生涯学習課

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全体として記載されている説明が不十分である箇所が多く、それぞれの項目間の結びつきが読み取れないので、丁寧な説明を心がけていただきたい。</li> <li>• 提出された資料に誤字（例：思慮→思料，社会づくの水 深→社会づくりの推進）が散見されるので、誤字のないよう記載していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 記載内容の説明が不十分と思われる箇所について、説明を加え、丁寧な説明となるよう努めてまいります。</li> <li>• 誤字等がないよう資料の精査を図ってまいります。</li> </ul>	
--	---	---	--



## 行政評価全般

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
行政評価の改善に関する提言について	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政評価委員会の役割の確認について 行政評価委員会の各部会において、行政評価の客観性と透明性の向上に資するより効果的で的確な協議が行われるためには、委員の間で、その都度、評価対象やその方法等に関し一定の理解や認識が共有されていることが必要である。各部会を開催する際に、行政評価委員会の目的や役割について毎回確認することができればよい。</li> </ul>	ご指摘のとおり、行政評価委員会の目的達成のために重要な事項であると考えます。今後、各部会開催の際には事務局より毎回の確認を行ってまいります。	総合政策部 秘書政策課